

臨床研究「前方上顎歯槽骨延長術に関する治療効果の検討」について

筑波大学附属病院歯科・口腔外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

唇顎口蓋裂手術により上顎の成長が抑制され小上顎症となることがあります。従来の上顎全体を前方移動する方法に変わり、前方上顎部の歯槽骨のみ骨延長する前方上顎骨延長術（AMD0）という方法が行われてきています。AMD0は侵襲が少なく効果的な骨延長および上顎前後径の拡大ができ、後方の位置が変わらないので鼻咽腔閉鎖機能不全を生じません。しかし、本治療法に関し治療効果に関する報告は少ないため、レントゲンでの頭蓋骨格計測による治療効果を評価することを本研究の目的としました。

② 研究対象者

2017年1月1日から2021年8月31日までに当院で唇顎口蓋裂術後に上顎劣成長を生じAMD0で加療を行なった患者を行った16歳以上の患者さんが対象です。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年12月31日まで

④ 研究の方法

唇顎口蓋裂手術後の小上顎症にAMD0を行った患者さんについて、年齢、性別、病名、術式、手術時間、出血量、術後合併症、骨延長量、咬合状態、口蓋瘻孔等を診療録から、術前後の頭蓋、歯の計測をセファロX線写真で後ろ向きに調査し、得られたデータを用いて統計解析を行ないます。

⑤ 試料・情報の項目

診療記録、セファロX線写真 等

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

なし

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

山縣 憲司

筑波大学 医学医療系 臨床医学域 顎口腔外科学
准教授

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：歯科・口腔外科・山縣 憲司

電話・FAX：029-853-3870（平日 9～17 時）